



平成19年11月12日

各位

日本出版貿易株式会社
代表取締役社長 関 口 晴 生
(JASDAQ・コード8072)
問合せ先 取締役事業管理部本部長
天 内 健 一
TEL (03)3292-3751

平成20年3月期中間業績予想との差異及び
通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年3月期中間(平成19年4月1日～平成19年9月30日)及び通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想について、平成19年5月18日付当社「平成19年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成20年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	4,356	52	34	20
今回修正(B)	3,934	25	0	12
増減額(B-A)	△422	△27	△34	△8
増減率	△9.7%	△51.9%	△100.0%	△40.0%
前期実績	4,340	△14	△21	6

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	9,900	111	78	45
今回修正(B)	9,541	123	80	47
増減額(B-A)	△359	12	2	2
増減率	△3.6%	10.8%	2.6%	4.4%
前期実績	9,862	△23	△49	△49

2. 平成20年3月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	4,253	47	29	17
今回修正(B)	3,832	7	△17	7
増減額(B-A)	△421	△40	△46	△10
増減率	△9.9%	△85.1%	—	△58.8%
前期実績	4,246	△17	△25	0

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	9,600	96	63	37
今回修正(B)	9,255	105	60	35
増減額(B-A)	△345	9	△3	△2
増減率	△3.6%	9.4%	△4.8%	△5.4%
前期実績	9,586	△54	△80	△75

3. 修正理由

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

単独における当中間期の売上高は予想を下回る予定です。この要因は輸入音楽関連ソフトの売上げがネット販売と音楽配信の影響を受け、予想値を大きく下回ることによるものであります。出版物、音楽ソフト及び雑貨品の輸出、洋書の国内販売等については堅調に推移しております。売上高が予想を下回りますが、物流のアウトソーシング費用の減少をはじめ、人件費減少といった営業費の圧縮により少額ながら営業利益を計上する予定です。経常利益におきましては急激な円高が大きく影響してマイナスになる予定です。中間純利益においては貸倒引当金戻入益を特別利益として3千1百万円計上いたしますが、予想を下回る予定です。

連結につきましては、海外子会社の業績が小規模ながら堅調に推移しました。特に日本語学習書の売上げがアメリカ、イギリス、フランスともに好調であり、利益面におきましても予想を上回りました。しかし単独の業績が占める割合が大部分であるため、連結としての業績は予想を下回る予定です。

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

当社の業績は、第3四半期にクリスマスと正月に向けての売上げが大きく計上され、続く第4四半期には翌年度の語学教科書の売上げが洋書の年間売上高の40%強を占めるなど季節的要因が大きく、下期に売上げが集中いたします。

単独における通期の売上高は、中間期までのマイナスを補うことが難しい中で、洋書業界の再編および、当社一手販売となる売れ筋の新刊による売上増を見込んだ結果、92億5千5百万円を予想しております。営業利益におきましては非正社員の人員数ならびに中途退職者の人員補充の見直しを行うことにより、中間期以上に営業費の減少が見込まれますので1億5百万円を予想しております。経常利益は今後の外国為替動向により左右されますが、中間期からさらに円高が進行する影響を考え6千万円を予想しており、当期純利益につきましては3千5百万円を予想しております。

連結における通期予想は単独と同様に下半期に偏重する傾向があります。特に海外子会社はクリスマス商戦による売上高が大きな比重を占めます。従いまして売上高95億4千1百万円、営業利益1億2千3百万円、経常利益8千万円、当期純利益4千7百万円を予想しております。

※通期の予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上